

取扱説明書

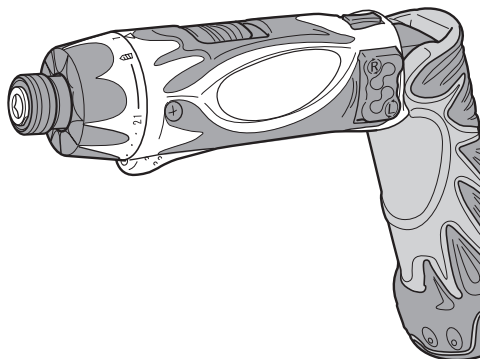
用途

- 小ねじ・木ねじなどの締付け、取りはずし
- 鉄工錐で金属の穴あけ

日立コードレスドライバドリル

3.6 V DB 3DL

このたびは日立コードレスドライバドリルをお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



お買い上げいただいたときは蓄電池が充電されておりませんので、必ず充電をしてからお使いください。

コードレス工具の安全上のご注意	1
本製品の使用上のご注意	5
各部の名称	6
仕様	7
別売部品	8
各種先端工具	8

各操作部（機能）の使い方	9
充電する	11
ねじを締める／はずす	13
穴をあける	15
ビットの選定と取付け方	17

保守・点検	18
ご修理のときは	裏表紙

はじめに

使い方

その他

警告、 注意、 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」、「 注意」、「 注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

 **注** : 製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

- ① **専用の充電器や蓄電池を使用してください。**
 - この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。
指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損傷を及ぼす恐れがあります。
- ② **正しく充電してください。**
 - この充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。
異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - 温度が 0 °C 未満、または温度が 40 °C を超える場合は、蓄電池を充電しないでください。
破裂や火災の恐れがあります。
 - 蓄電池は、換気の良い場所で充電してください。充電中、蓄電池や充電器を布などで覆わないでください。
破裂や火災の恐れがあります。
 - 使用しない場合は、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。
感電や火災の恐れがあります。
- ③ **蓄電池の端子間を短絡させないでください。**
 - 釘袋などに入れると、短絡して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
- ④ **感電に注意してください。**
 - めれた手で、充電器のさし込みプラグに触れないでください。
感電の恐れがあります。

⚠ 警告

⑤ 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 工具本体、充電器、蓄電池は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。
爆発や火災の恐れがあり、事故の原因になります。

⑥ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

⑦ 加工するものをしっかりと固定してください。

- 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で工具本体を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工するものが飛んで、けがの原因になります。

⑧ 次の場合は、工具本体のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から抜いてください。

- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他、危険が予想される場合。
工具本体が作動して、けがの原因になります。

⑨ 不意な始動は避けてください。

- スイッチに指を掛けて連発しないでください。
工具本体が作動して、けがの原因になります。

⑩ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
事故やけがの原因になります。

⑪ 蓄電池を火中に投入しないでください。

- 破裂したり、有害物質の出る恐れがあります。

⚠ 注意

① 作業場は、いつもきれいに保ってください。

- ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。

② 子供を近づけないでください。

- 作業者以外、工具本体や充電器のコードに触れさせないでください。
けがの原因になります。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
けがの原因になります。

⚠ 注意

③ 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が 50℃ 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の中車など）に保管しないでください。
- 蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

④ 無理して使用しないでください。

- 安全に能率よく作業するために、工具本体の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
- 発煙、発火の恐れがあります。

⑤ 作業に合った工具本体を使用してください。

- 小形の工具本体やアタッチメントは、大形の工具本体で行なう作業には使用しないでください。けがの原因になります。
- 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。

⑥ きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。
- 回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- 回転部に巻き込まれる恐れがあります。

⑦ 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のところがった所に近づけないでください。
 - コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように、充電する場所に注意してください。
- 感電や、ショートして発火する恐れがあります。

⑧ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- 転倒して、けがの原因になります。

⑨ コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの原因になります。
- 充電器のコードは、定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- 感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- 充電器に継ぎ（延長）コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 感電や、ショートして発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。

⚠ 注意

- ⑩ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
- スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
 - 付けたままでは、作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑪ 屋外使用に合った継ぎ（延長）コードを使用してください。**
- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ（延長）コードを使用してください。
- ⑫ 油断しないで十分注意して作業をしてください。**
- コードレス工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。
 - 軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 常識を働かせてください。
 - 非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。
 - 事故やけがの原因になります。
- ⑬ 損傷した部品がないか点検してください。**
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - さし込みプラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。
 - 感電や、ショートして発火する恐れがあります。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできない工具本体は、使用しないでください。異常動作して、けがの原因になります。
- ⑭ コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。**
- サービスマン以外の方は、工具本体・充電器・蓄電池を分解したり、修理・改造をしないでください。
 - 発火したり、異常動作して、けがの原因になります。
 - 工具本体が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにお申し付けください。
 - ご自分で修理すると、事故やけがの原因になります。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスドライバドリルとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① 作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
 - 埋設物があると先端工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ② 使用中は、工具本体を確実に保持してください。
 - 確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ③ 使用中は、ビットやドリル（錐）などの回転部に手や顔などを近づけないでください。
 - けがの原因になります。
- ④ 使用中に異常音や異常振動など工具本体の調子に異常を感じたときは、直ちにスイッチを切り、点検・修理に出してください。

⚠ 注意

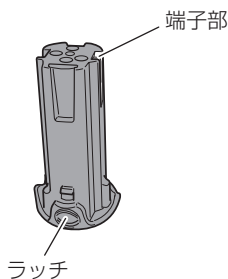
- ① 工具工具類（ビットやドリルなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
 - 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- ③ 穴あけ直後のドリル（錐）や切りくずは高温になっているので、触れないでください。
 - やけどの原因になります。
- ④ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
 - 材料や工具本体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑤ 細径の錐は折れやすいのでご注意ください。
 - 飛散して、けがの原因になります。
- ⑥ 蓄電池は確実に取付けてください。
 - 確実でないと、蓄電池が抜け落ちて、けがの原因になります。
- ⑦ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てたり、火の中へ入れないでください。
- ⑧ 蓄電池は乳幼児の手の届かない所に保管してください。
- ⑨ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

各部の名称

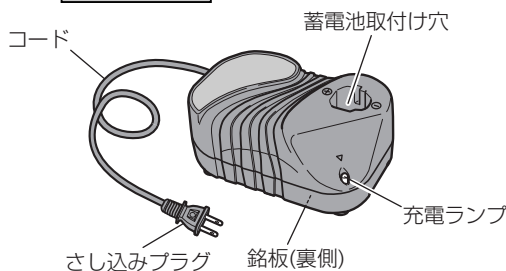
工具本体



蓄電池



充電器



標準付属品

品名・形名	仕様	2MCK	MCK	NN
蓄電池 EBM 315		2 個 (本体装着 1、予備 1)	1 個 (本体装着)	—
充電器 UC 3SL		1 台	1 台	—
ビット (No.2 プラスドライバビット)		1 本	1 本	1 本
収納ケース		1 個	1 個	—

仕 様

1. 工具本体仕様

形 名		DB 3DL
能力	穴あけ	鋼材：直径 2 mm
	ねじ締め	小ねじ：5 mm 木ねじ：呼び径 3.5 mm×長さ 20 mm
締付け トルク	1	約 0.3 N・m { 3 kgf・cm}
	5	約 0.8 N・m { 8 kgf・cm}
	9	約 1.3 N・m { 14 kgf・cm}
	13	約 1.9 N・m { 19 kgf・cm}
	17	約 2.4 N・m { 24 kgf・cm}
	21	約 2.9 N・m { 30 kgf・cm}
		低速：約 5 N・m { 51 kgf・cm} 高速：約 1.5 N・m { 15 kgf・cm}
無負荷回転数 (気温 20℃満充電時)		低速：200 min ⁻¹ {回／分} 高速：600 min ⁻¹ {回／分}
モ ー タ ー		直流モーター
先 端 形 状		二面幅 6.35 ビット挿入形状
蓄 電 池	円筒密閉形リチウムイオン電池	
	電圧 3.6 V	
質 量		0.4 kg (EBM 315装着時)

2. 充電器仕様

形 名	UC 3SL
入 力 電 源	単相交流 50 / 60Hz 共用 電圧 100 V
充 電 時 間	EBM 315…………… 約 18 分 (気温 20℃時)
充 電 電 圧	3.6 V
充 電 電 流	6.0 A
コ ー ド	2 心ビニールコード
質 量	0.3 kg
使用温度範囲	0℃～40℃

3. 蓄電池仕様

形 名	容 量	冷 却	残量表示ランプ
EBM 315	1.5 Ah { 1500 mAh }	非対応	なし

別売部品

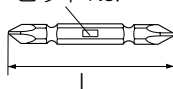
(別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

詳しくは、お買い求めの販売店または日立工機の全国営業拠点(裏表紙参照)にお問い合わせ下さい。

プラスドライバビット

ビットNo.は2種類ご用意しています。

ビットNo.

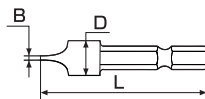


ビットNo.	L (mm)
No. 2	45
No. 3	65※
	110
	150

※標準付属品(ビットNo. 2)

ドライバビット

マイナスねじ用ビットです。



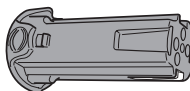
品名	B(mm)	D(mm)	L(mm)
ドライバビット4mm	0.8	7	50 70
ドライバビット6mm	1	9	50 70

3.6 V 蓄電池

標準付属品と同形です。(NN仕様を除く)

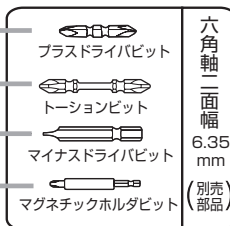
予備電池としてご利用ください。

EBM 315



各種先端工具

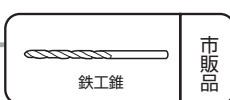
用途に応じた先端工具(アタッチメント)をご使用いただくことで、いろいろな作業にご利用できます。詳しくは、お買い求めの販売店または日立工機の全国営業拠点(裏表紙)にお問い合わせください。



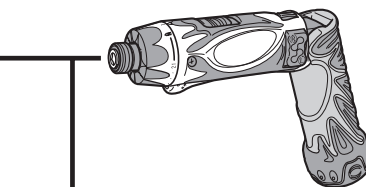
六角軸
二面幅
6.35 mm
(別売部品)



市販品



市販品



はじめに

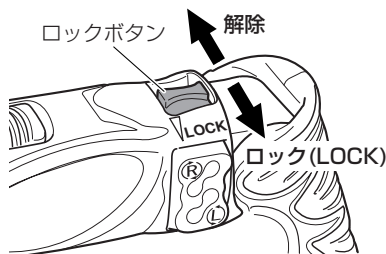
各操作部（機能）の使い方

●ロックボタンについて

- ・あやまってスイッチを押してもモーターが起動しないようにロックボタンが付いています。

注 次の場合必ず、ロックボタンをロック (LOCK) の位置にしてください。

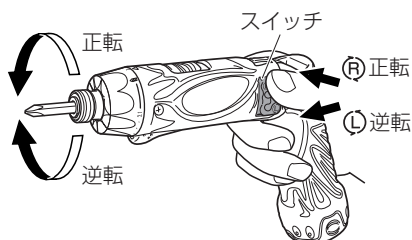
- ・ 使用しないとき
- ・ 先端工具を取付け・取りはずすとき
- ・ 手まわしドライバとして使用するとき
(P 10「手まわしドライバとしての使い方」参照)



●スイッチの使い方

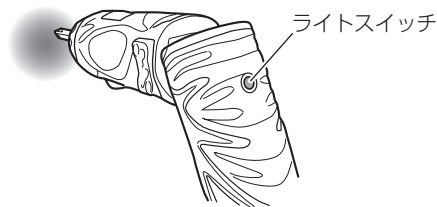
- ・ ロックボタンを解除して、スイッチの (R) 側を押すと正転、(L) 側を押すと逆転します。

注 ロックボタンがロック (LOCK) になっているときは、スイッチが入りません。
ロック (LOCK) になったまま、強くスイッチを押しますと故障の原因になります。



●LEDライトの使い方

- ・ ライトスイッチを押すとLEDライトが工具先端部を照らします。もう一度ライトスイッチを押すと消灯します。
- ・ 蓄電池の消耗防止のため、こまめに消灯してください。



⚠ 注意

ライトをのぞき込んで、直接ライトの光を目に当てないでください。
ライトの光が連続して目に当たると目を痛める原因になります。

注 LEDライトは蓄電池電圧が低下すると自動で消灯するようになっています。

使用をいったん中止し、蓄電池を充電してください。

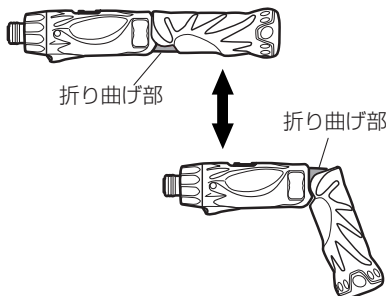
●ストレート／ピストル型の使い方

- 狭い場所での作業にはストレート型、その他の場所ではピストル型などと、作業用途に応じて使い分けができます。
- 型を変えるときは「カチッ」と音がするところまで、伸ばして（曲げて）ください。

⚠ 注意

本体を折り曲げてピストル型にするとき、またストレート型にもどすときは本体の折り曲げ部分を持たないでください。

手が折り曲げ部分にはさまれてけがをする恐れがあります。



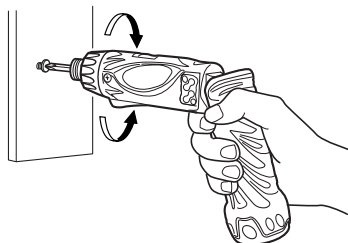
●手まわしドライバとしての使い方

- 手まわしドライバとしても使える手締め機能が付いています。ロックボタンをロック (LOCK) にして本体を手でまわしてください。締付け確認や不意な電池切れの際に便利です。

注

・無理な締付けや、サビついたねじの無理な取りはずしなどはしないでください。故障の原因になります。

・5 N・m { 50 kgf・cm } 以下でご使用ください。



●シフトノブで回転数切替 (HIGH/LOW)

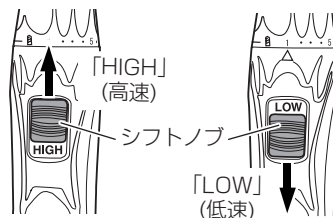
- 速い回転でねじ締めを行いたいときは、シフトノブを「HIGH」(高速) へ、ゆっくりした回転で行いたいときは「LOW」(低速) へ切替えます。ドリルとして使用しているときも有効です。

注

・シフトノブで回転数を切替えるときは、必ずスイッチを切り、モーターが停止していることを確かめてください。モーターの回転中に回転数を切替えると、内部の歯車を傷めます。

・大きな力が必要な作業の場合 (クラッチダイヤル (P14 参照) が 10 以上のとき) は、シフトノブを「LOW」側に切替えてご使用ください。

「HIGH」側で使用すると、モーターが早期に焼損する原因になります。



充電する

ご使用前、新品時、長期間で使用にならなかったとき、
残量が残りに少なくなったときは、次のように充電してください。

警告

手順 ①、② については、充電器のさし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。

1 電源を確認する

- この充電器は交流100V用です。
200V電源に接続すると、充電器が
異常に発熱し、焼損します。
また、直流電源やエンジン発電機で
は使用しないでください。

2 電源コンセントを確認する

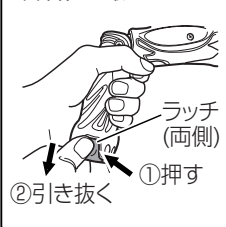
- 電源コンセントががたついたり、さし込みプラグが抜け落ちてしまうときは、接続しないでください。そのまま使用すると危険です。

3 さし込みプラグを電源 コンセントにさし込む

- 充電ランプが赤の点滅を繰り返します。(0.5秒間隔)
(P12 充電ランプの表示について参照)

4 蓄電池を充電器にさし込む

工具本体から取りはずすとき



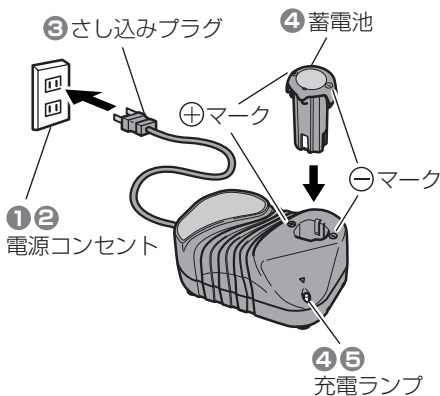
- 右図のように蓄電池と充電器の⊕⊖マークの向きを合わせて、充電器の底に当たるまでしっかりとさし込んでください。
- 充電を開始すると充電ランプが赤に点灯します。

5 充電の完了

- 充電されると充電ランプが赤の点滅(0.5秒間隔)でお知らせします。
- さし込みプラグを電源コンセントから抜き、充電器から蓄電池を抜き取ってください。

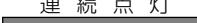
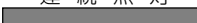
注・蓄電池をさし込んでも、充電ランプが赤に点灯しない場合は、さし込みプラグを電源コンセントから抜き、蓄電池の取付が確実かどうか、確かめてください。

・新品時や長期保管しておいた電池は、充電時間が長くなることがあります。2～3回の充放電を繰り返すと正常な状態に戻ります。



充電時間：約18分

●充電ランプの表示について

充電ランプ が赤に点灯 または点滅	点 滅	0.5 秒点灯／消灯 	充 電 前	
	点 灯	連 続 点 灯 	充 電 中	
	点 滅	0.5 秒点灯／消灯 	充電完了	
	速い点滅	0.1 秒点灯／消灯 	充電不可	
充電ランプ が緑に点灯	点 灯	連 続 点 灯 	電池高温	蓄電池または充電器に 異常あり 蓄電池温度が高くて 充電できない (蓄電池の温度が下がると 充電を開始します)

注 充電ランプが赤の速い点滅 (0.1 秒間隔) を繰り返すときは、蓄電池の取付け穴に異物が入っていないかどうか確認してください。
異物が入っていたときは取り除いてください。異物が入っていないときは、充電器または蓄電池に異常があると考えられるので、充電器と蓄電池の両方を、お買い求めの販売店にご持参ください。

●蓄電池を長持ちさせるコツ

- 蓄電池が空 (から) になる前に充電
工具の力が弱くなってきたと感じたら、使い続けるのをやめ、充電します。
無理に使い続けると、蓄電池が痛み、寿命を短くします。
- 高温時の充電は避ける
工具を使用した直後の蓄電池は熱くなっていますので、蓄電池が少し冷めてから充電します。すぐ充電すると蓄電池の寿命を短くします。

●充電器と蓄電池の取扱いについて

- 一度充電が完了した後、次の充電まで15分程度充電器を休ませてください。
同じ充電器を連続して使用すると、充電器が発熱し、故障の原因になります。
- 使用後は充電器から蓄電池を抜いて保管してください。

●蓄電池の寿命について

- 正しい充電をしても、蓄電池の使用時間が著しく低下してきたときは、蓄電池の寿命がつかたものとお考えいただき、新しい蓄電池をお買い求めください。
寿命のつかた蓄電池をそのまま使用していると、蓄電池だけでなく、充電器故障の原因になります。
- 蓄電池の寿命がつかたものは、リサイクルしますので廃棄しないで、お買い求めの販売店にご持参ください。

ねじを締める／はずす

小ねじ・木ねじなどの
締付け、取りはずし

⚠ 警告

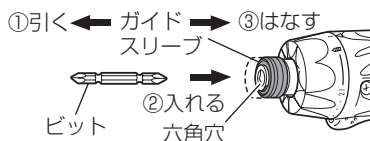
ドライバビットの取付けや取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずロックボタンをロック(LOCK)の位置にして、蓄電池を工具体から抜いてください。

⚠ 注意

- 蓄電池は確実に取付けてください。確実にないと、蓄電池が抜け落ちたりして、けがの原因になります。
- ねじ締め、ねじはずし直後のねじやビット、ガイドスリーブは高温になっているので触れないでください。

1

ビットを取付ける



Sタイプのビットを取付けるにはP17「ビットの選定と取付け方」を参照してください。

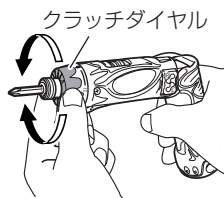
注

ビットを取付け、ガイドスリーブが元の位置に戻らないときは、取付けが不確かです。ビットが六角穴の奥に突き当たるまで入れてください。作業中にビットが抜けたり、取りはずせなくなることがあります。

2

クラッチダイヤルの目盛りを合わせる

- クラッチダイヤルを回し、作業に応じて、締付けトルクを調整します。

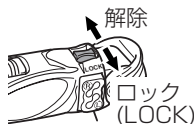


P14「締付けトルクの調整」参照

4

ロックボタンを解除する

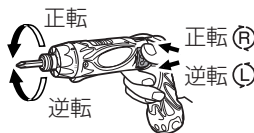
- 使用後は必ずロック(LOCK)の位置にしてください。



5

正転® (または逆転Ⓕ)のスイッチを入れる

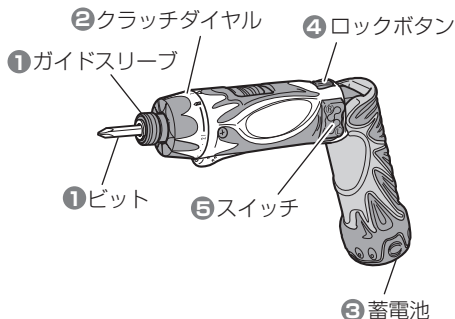
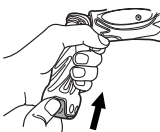
- ねじの頭からビットがはずれない程度の力で押付けます。



3

蓄電池を取付ける

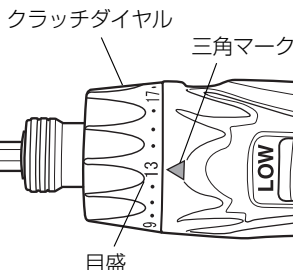
- 右図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。



●締付けトルクの調整

- 目盛り数値が大きくなるほど大きな力でねじ締め（またはねじはすし）ができます。

必要以上に力がかかると、クラッチが動作して（カチャカチャと音がする）ねじの締めすぎを防止します。三角マークと目盛り「1～21」または黒丸、ドリルマーク「」が合うようにクラッチダイヤルを回します。



- ねじの締めすぎのない作業を行うには、目盛りの数値を小さい方から少しづつ大きくして、締付けぐあいを確認しながら行ってください。

目盛りが10以上のときは、シフトノブ（P10 参照）を「LOW」にして使用してください。

目盛り	1・・・5・・・9・・・13・・・17・・・21 ———— 		
シフトノブ	HIGH または LOW	LOW	
作業の目安	小ねじの締付けや、やわらかい木材	かたい木材	使用不可 太い木ねじ

●ねじ締め作業のコツ

- 下穴をあけずに、直接木材に木ねじを締めるときは、金づち等で軽く木ねじを木材に打ちつけてから、締付けるとねじがぐらつかずスムーズな作業ができます。

- ねじをはずすときはスイッチの①側を押して逆転にしてください。

- ねじの径より少し細い錐で下穴をあけておくと木材に割れが入ったりせず、作業がらくにできます。下表を参考にしてください。

木ねじ呼び径(mm)	下穴径(mm)
3.1	2.0～2.2
3.5	2.2～2.5

●ねじ締め作業が可能な範囲

- 材料の種類、硬さなどにより異なりますので、目安とお考えください。

作 業	クラッチダイヤル	作業可能範囲	注意事項
ねじ締め	1～21	ねじ径 5 mm	ねじ径に合ったビットをご使用ください。
木ねじ締め	1～ 	呼び径 3.5 mm × 長さ 20 mm	なるべく下穴をあけて作業してください。

●ねじが締付けられる数は

- 工具体体の1充電当たりの作業量の目安を示します。

（作業量は、使用環境、材料の種類、硬さなどにより異なりますので、目安とお考えください。）

作 業	内 容	締付けられる数
ねじ締め	呼び径 3.5 mm × 長さ 20 mm (木ねじ・米松材)	約 80 本

穴をあける

鉄工錐を使用して、金属に穴あけ

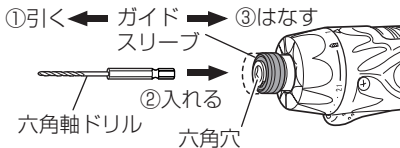
⚠ 警告

ドリルの取付けや取りはずしの際、万一の事故を防止するため、必ずロックボタンをロック(LOCK)の位置にして、蓄電池を工具本体から抜いてください。

⚠ 注意

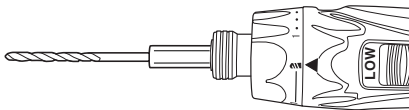
蓄電池は確実に取付けてください。確実でないと、蓄電池が抜け落ちたりして、けがの原因になります。

1 ドリル(錐)を取付ける



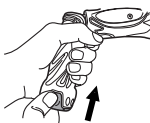
注 ドリルを取付け、ガイドスリーブが元の位置に戻らないときは、取付けが不確実です。ドリルが六角穴の奥に突き当たるまで入れてください。作業中にドリルが抜けたり、取りはずせなくなることがあります。

2 クラッチダイヤルを に合わせる



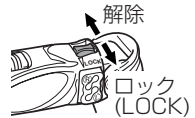
3 蓄電池を取付ける

●右図の向きで、「カチッ」と音がするまで、しっかりと押し込んでください。

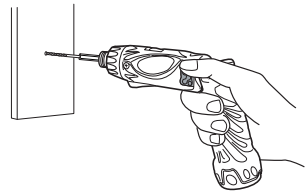


4 ロックボタンを解除する

●使用後は必ずロック(LOCK)の位置にしてください。



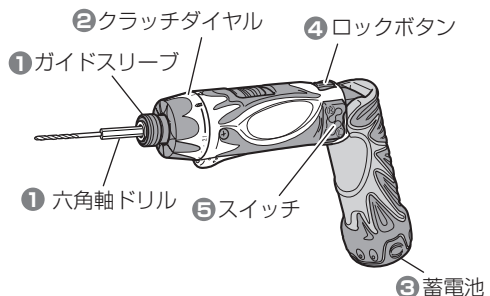
5 正転® スイッチを入れる



P16「金属に穴をあけるコツ」参照

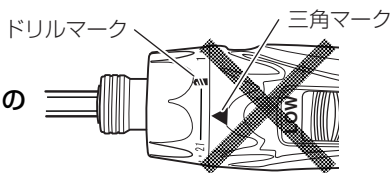
6 材料からドリルを抜く

●スイッチを入れたまま(回転したまま)、ドリル(錐)を引き抜いてください。または、いったんスイッチを切り、逆転④スイッチを押しながら引き抜いてください。



●穴あけ時のクラッチダイヤル位置（マーク）設定

- ・ドリルとして穴あけする場合は、ドリルマーク「」を三角マークにあわせませす。

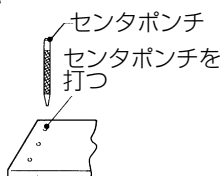


- 注** 三角マークが「21」とドリルマーク「」の間に位置した状態では、使用しないでください。故障の原因になります。

●金属へ上手に穴をあけるコツ

市販のセンタポンチを使用する

- 鉄工錐の先がすべらず、決まった位置に穴あけができます。



鉄工錐の先に機械油か石けん水を付ける

- 穴があけやすくなります。

- 注**
- ・金属に穴をあける場合、穴の抜けぎわに大きな力がかかります。穴の抜けぎわは、工具本体の押し付けを弱めてください。
 - ・必要以上に力をかけても決して早く穴はあきません。錐先を傷めて作業効率が低下したり、錐を折ってしまうことがあります。
 - ・無理な力をかけ、回転を停止させないでください。数秒間停止し続けると、モーターやスイッチの故障および蓄電池の寿命を著しく短くする原因になります。
 - ・大きな力が必要な作業の場合は、シフトノブを「LOW」側に切替えてご使用ください。（P10 参照）

⚠ 注意

穴あけ直後のドリル（錐）、ガイドスリーブは高温になっているので触れないでください。

●穴あけ作業が可能な範囲

- ・材料の種類、硬さなどにより異なりますので、目安とお考えください。

作 業	クラッチダイヤル	作業可能範囲
穴あけ		鋼 材：錐径 2 mm（板厚 1.0 mm）

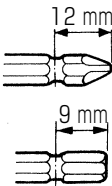
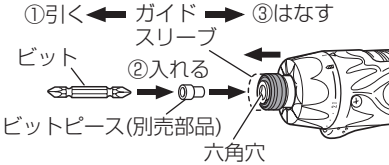
●穴があけられる数は

- ・工具本体の1充電当たりの作業量の目安を示します。（作業量は、使用環境、材料の種類、硬さ、錐の切れ味などにより異なりますので、目安とお考えください）

作 業	内 容	穴があけられる数
穴あけ	直径 2.0 mm×厚さ 1.0 mm（鋼材）	約 210 個

●ビットの選定と取付け方

- 標準付属品および当社指定のビットのサイズはLタイプです。Sタイプのビットを取付ける場合はビットピース（別売部品）が必要です。下表の手順で確実に取付けてください。

ビットのサイズ	ビットの取付け方
Sタイプ 	 ①引く ← ガイドスリーブ → ③はなす ビット ②入れる ビットピース(別売部品) 六角穴 ガイドスリーブを先端側に移動させ、ビットピース、ビットの順で六角穴にさし込み、ガイドスリーブをはなします。

- 注**
- ビットを取付け、ガイドスリーブが元の位置に戻らないときは、取付けが不確実です。ビットが六角穴の奥に突き当たるまで入れてください。
 - Sタイプにビットピースを取付けないで無理に使用しないでください。作業中にビットが抜けたり、取りはずせなくなることがあります。

保守・点検

⚠ 警告

- 点検・手入れの際は、必ずロックボタンをロック (LOCK) の位置にして、蓄電池を工具本体から抜いてください。また、充電器は、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

● 錐、ドライバビットの点検

- 刃物の先端部が摩耗したり折損した錐を、そのまま使用すると、モーターに無理をかけることになり、能率も落ちますから早めに再研磨するか、新品と交換してください。
- また、先端部が摩耗したり折損したドライバビットを、そのまま使用すると、ねじ頭を傷めますので新品と交換してください。

● 作業後の保管

- 作業後は、温度が 50℃ 未満で、お子様の手の届かない乾燥した場所に保管してください。また、長期間 (6 ヶ月以上) で使用にならない場合は、蓄電池を長持ちさせるために、満充電にして保管することをおすすめします。

- 注**
- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。
 - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
 - 直射日光の当たる場所には保管しない。
 - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

● 取付ねじの点検

- 工具本体のねじがゆるんでいないか、点検してください。
- ゆるんでいたら、締め直してください。

● お手入れする

- 工具本体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。

ご修理のときは

この製品は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決してご自身で修理をなさらないで買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは、下記の全国営業拠点にご相談ください。その他、部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

蓄電池はリサイクルへ

コードレス工具に使用の蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池や製品の廃棄の際は、リサイクルにご協力いただき、最寄りの日立電動工具販売店または日立工機電動工具センターにご持参ください。



お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年 月 日	製造番号(NO.)
販売店 (TEL)		

全国営業拠点

■ 日立工機電動工具センターへのご用命は、下記の営業拠点にお問い合わせください。

北海道支店 TEL (011) 271-4751 (代) 〒060-0003 札幌市中央区北三条西4丁目1番地1 (日本生命札幌ビル)
東北支店 TEL (022) 288-8676 (代) 〒984-0002 仙台市若林区卸町東3丁目3番36号
東京支店 TEL (03) 5812-6331 (代) 〒110-0016 台東区台東4丁目11番4号 (三井住友銀行御徒町ビル)
中部支店 TEL (052) 262-3811 (代) 〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目7番13号 (コスモ栄ビル)
北陸支店 TEL (076) 263-4311 (代) 〒920-0058 金沢市示野中町1丁目163番
関西支店 TEL (06) 4796-8451 (代) 〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目6番20号 (スノークリスタル)
中国支店 TEL (082) 228-0537 (代) 〒730-0011 広島市中区基町11番13号 (第一生命ビル)
四国支店 TEL (087) 863-6761 (代) 〒760-0078 高松市今里町1丁目28番14号
九州支店 TEL (092) 621-5772 (代) 〒813-0062 福岡市東区松島4丁目8番5号

「電動工具お客様相談センター」 ☎ 0120-208822 (フリーダイヤル・無料)
※携帯電話からはご利用になれません。 (土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00)
電動工具ホームページ—<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>



〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティ A棟)
国内営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)